

広報みしま

町のすがた

(1月1日現在)

第118号

人口 男 3,348人(-2)
 女 3,579人(-2)
 計 6,927人(-4)
 世帯数 1,560 (0)
 ()は12月1日との比較

発行 昭和53年1月15日
 新潟県三島郡三島町役場
 ☎(025842) (代)2221
 印刷 長岡市(株)中越タイプ社



田村芳則・房子さん (下河根川)

五十三年の「初春号」昨年結婚された若いカップルにご登場願いました。二人の笑顔のような年であることを願って……。



金子 信・延子さん (下河根川)



八田和行・由美子さん (鳥越)



難波久和・久子さん (蓮花寺)



原 昇・ちよこさん (脇野町)



小熊正行・洋子さん (逆谷)



佐藤光男・のり子さん (上岩井)



片桐良雄・芳子さん (瓜生)



榊 隆・由紀枝さん (脇野町)



片野 栄・順子さん (脇野町)



山田達也・あきさん (鳥越)



小林幸栄智・いく子さん (上岩井)



本村俊則・秀子さん (瓜生)



小林順一・幸子さん (上岩井)



大滝正秀・芳子さん (藤川)



中野貞良・タツさん (逆谷)



西山富夫・洋子さん (上条)



小林喜一・芳恵さん (上岩井)



小野 修・房子さん (藤川)



小方喜美雄・レイ子さん (鳥越)

資料館だ 郷土 弁(かうがい) 服飾品 (32)

写真の弁は、日本髪に用いる髪飾りの一種で、花嫁の島田揚げにさす花弁の一種である。弁は、儀式用には釧甲(へっこ)製が正式であり、棒状の両端に、松竹梅や鳥をあしらった花飾りがつき、同じ細工の花かんざしと前後さし二本つっ添えられ、また丸まげ用に櫛、弁と平打の後ざしとともに一セットになっているのが普通である。

丸まげの常用の弁は、中差しと呼ばれ、また雨天といひ中央で抜きさし出来るものもある。元来の弁は、昔は髪飾りではなく、男女共に髪かきとして髪をすく時の道具であった。女の髪飾りとして用いられるようになったのは、江戸時代からで、それも庶民一般の花嫁に使われるようになったのは、明治以後のことである。釧甲(たいはい)その他の大亀の甲で作られるだけに、模造品を除き、防虫の管理が大切である。



水道企業団に依頼

水源調査特別委員会が結論

十二月二十一日から二十三日までの三日間、町議会第四回定例会が開かれ、今年度の一般会計補正予算案などの議案と十一月の臨時議会で設置された「水源調査特別委員会」の委員長報告についての審議などが行われました。そのなかからみなさんの関心の高い水道の水源問題について、審議結果の概要を、お知らせします。

同特別委員会は十一月二十二日に設置された後、数回の会議を重ね調査研究を行ってきました。そしてその委員会の審議結果について十二月二十一日、次のような要旨で委員長報告が行われ、少数意見もありましたが、了承されました。

あらゆる角度から十分な調査と検討を加え研究したが、これらに総合的に判断すると、現在の水道施設はできるだけ利用し、最も早い機会に与板町和島村水道企業団に依頼して水不足の解消ができるようにすることが適当である。特別委員会の結論は、以上のよ

北部保育所来月1日に竣工式

七月の下旬から工事が続けられていた北部保育所に真新しい看板が掲げられ十二月十八日竣工しました。そして二月一日喜びの竣工式が行われる予定です。

北部保育所としての正式な発足は四月からとなりますが、正月休みの終えた九日から使用が開始され、何もかも「新品」で暖房のきいた部屋に子供たちは大喜びです。

通所のためのバス(児童五十人乗り)も一月から本格的に運行されています。なお、新しい保育所への移転にともない、従来不便をおかけしていた農集電話が廃止さ



うな内容ですが、いずれにせよ、水という生活に欠くことのできない大切な問題だけに、今後の成果がまたれます。

新しい区長さんです

ことしの各大字の区長さんが次のとおり決まりました。(敬称略)

宮 藤 氣 逆 上 中 瓜 下 大 新 中 脇 吉 上 七 鳥	川 比 谷 条 水 花 河 野 保 野 野 岩 日 越	津 川 宮 谷 条 寺 生 川 野 保 野 崎 井 市 越	田 井 稲 遠 河 大 小 山 滝 滝 忠 義	井 小 松 近 西 外 丸 倉 田 井 稲 遠 河 大 小 山 滝 滝 忠 義	上 熊 浦 藤 山 川 山 重 村 開 田 藤 正 鉄 良 幸 柱	健 正 興 喜 知 久 一 敏 一 義 次 仁 郎 栄 司 平
---------------------------------	-----------------------------	-------------------------------	-------------------------	---	-----------------------------------	---------------------------------



れ、単独電話の(2670)番になりました。

今月の保健行事

月日	種 別	対 象 者	と ころ	と き
1.20	ゆうあい号(献血車)	一 般	福祉センター	10:00~15:00
2.2	妊婦検診	妊 婦	"	13:00~15:00
9	精神衛生相談	希 望 者	"	13:30~15:00
15	乳児検診(田中医師)	生後3ヵ月~1年未満の乳児	"	12:30~14:00

あなたの街です。自然です。
 吸からの投げ捨てはやめましょう。
Smokin' Clean
 スモーキングクリーン

怖い夜の交通事故

夜はできるだけ白系統の衣服を身につけ、夜光反射テープ、懐中電灯などを持って歩くよう心がけましょう。

初夢 19 新春

新年おは元旦にと希望をみなさん1978!!



小坂真知子さん 鳥越 (27歳)

●おなかを見て下さい。四月の初めが子定日なんです。初めての出席でしよう、そりゃ欲を言えばね……でもどっちでもいいの。元気で丈夫な子が生まれてくれればそれで十分です。



稲持 美恵さん 中条 (6歳)

●いまま少しカセをひいているの。年賀状が先生から来たし、お友達からも、全部で七枚も来たよ。新しい保育所も行きたいし、雪が消えると、こんどは学校に行きます。お年玉はまだある。バナナが大好きです。



小川 久作さん 蓮花寺 (77歳)

●血を引くんだらうか。孫が走るのが好きでお。青年のときは、おれもよく出たもんだ。上条のたいなんか、お前が出れば、走りたくないなどと云ったもんだ。お茶を飲み歩くのが一番の楽しみだこつて。



青柳 久之さん 七日市 (38歳)

●いま、不景気だ、不況だとみんなの気持が停滞している。今年の店の方針は、うちに来てもらったお客さんからは、そんな気持を忘れてもらって、サッパリとした気分になつてもらおうということさ。



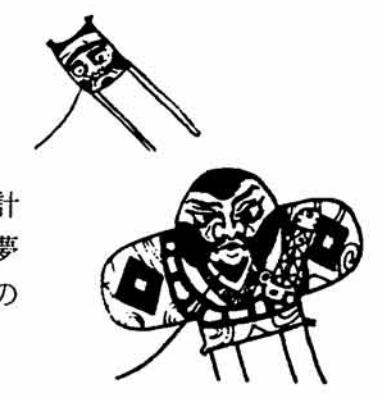
稲田 市郎さん 新保 (60歳)

●減反ね。まあ、喜んでする人はいないと思うがね。しかし、現実的に余っている米と、しななかった場合に次に想定される手段を考えてみるとやっぱり……。農業も他の産業と同じように不況期と言えらね。



柳 トサさん 吉崎 (47歳)

●近所の人に、お前さん方がいいね。いつも二人いっしょに車に乗って仕事が出てきて、うらやましがられています。せがれに嫁さんをもらうような年になりましたね。いい娘がいないらうかね。



ビュー

す。昔から、「1年の計：みなさんは、どんな夢見たか？ 町内各地区のどを聞いてみました。をお話し下さい。



古見 節子さん 脇野町 (14歳)

●お年玉？ 千円で野球盤買って、あとは全部貯金したよ。去年プロ野球を見に行く予定だったけど兄ちゃんが盲腸で行けなかった。だから今年は通信簿が良かったらつれて行ってもらえるんだ。



小熊 伸幸さん 宮沢 (18歳)

●春には社会人になるが、長岡市のマラソンクラブにも入っているし、続けます。まず、長岡市で行われる日報ロードレースで頑張ってみようつもりです。でも大会のための練習より気楽に走る方が好きです。



結城 浩さん 鳥越 (8歳)

●お年玉？ 千円で野球盤買って、あとは全部貯金したよ。去年プロ野球を見に行く予定だったけど兄ちゃんが盲腸で行けなかった。だから今年は通信簿が良かったらつれて行ってもらえるんだ。



善意の贈り物

●昨年の暮れ「ひとり暮らしのお年寄りに着てもらって下さい」と、福祉係あて、男女一組のはんてんが匿名で届けられました。そして、この温かい贈り物は、早速町内二人のお年寄りに届けられました。善意の贈り物、ありがとうございました。

これからです水道管の破裂

●これからが本格的な寒さです。水道管の保護は十分でしょうか。万一反裂したときは次の指定業者に大至急連絡して下さい。大島鉄工所(☎2239)中野工事店(☎2509)大原工事店(☎2642)小方工事店(☎46-2105)片沼配管(☎8666)片桐配管(☎8623)奈良場水道設備(☎46-3711)〈順不同〉

国民年金の現況届けを忘れずに

●国民年金老齢年金受給者の方には、社会保険庁から現況届けの用紙(はがき)が届けられていることと思います。この現況届けは続けて年金を受けるための大切な手続きですので役場で証明を受けて、必ず送り返して下さい。

陸運事務所長岡支所等の開設

●2月20日から新潟県陸運事務所(長岡市旗田屋町字外川☎22-1131)が開設され、中越・上越地区の自動車の登録業務が取り扱われます。また、新潟県自動車税事務所(同☎22-1134)も長岡支所を開設し、自動車税関係の業務を取り扱います。



三島町長 河内 弘二

新年おめでとうございます。おめでとうございます。珍しく小雪の新年を迎えましたが、昭和五十三年はかつて経験をしたことのないきびしい事態に直面しており、身の引き締まる気持で新春を迎えました。低速と混乱を続ける経済情勢のなかで、中小企業の不振、農業の深刻な経営難と、いずれも町政に、住民生活にと、直接大きな影響のあることからばかりでありました。しかし、昭和五十三年度の国家予算案では、この経済不況から脱出する諸施策が大きく取り入れられております。自主財源に乏しい地方自治体は常にこの国の施策を吸収して、より多くの町民の志向する事業を極力推進し、より豊かな町づくりをすることが私に与えられた責任であると感じております。幸いにして今年も昨年同様であり、十二年前の昨年にはかつての不況から脱出した年でもありません。この重大な時期に遭遇した新



三島町議会議員 元井 藤作

●春にあたり、私は初心にかえって過去の経験を生かし最大の努力をいたします。町民の皆様も旧来に倍して、豊かな町づくりを切望いたします。皆様のますますのご健勝をお祈りして年頭のごあいさつにかえさせていただきます。

●新年おめでとうございます。五十二年は、史上第二の豊作といわれ、また希望の北部保育所の建設も順調に進み、ガス事業においても平地地域より点火が始まり全戸点火も間近で、これも当局をはじめ関係の皆さんの絶大なるご協力の結果と存じ、ご同慶のいたりであります。さて、むかえました昭和五十三年は、町の基幹産業である農業にあっては減反政策、反面、不況克服のための公共事業推進という面も出てはおりますものの、当町の産業の状態を見ると、必ずしもバランスの取れた状態であるかは疑問がありますが、お互いの自覚と相互の協力により、よい年になるよう、むすびつけてゆくことが大切であると思えます。一方、町の水道の水源対策については、議会も共に心痛いたしました。井戸の堀さくをやりながらも水源の求め方に研究が必要であるという原点に立つて、特別委員会を設置しこれが調査研究の結果等をもとに今後早急に当局をはじめ、議会も水不足解消に力を入れて行かなければなりません。これら建設に要する数字は多額な額とは思われますが、町当局、議会、住民が一体となって町づくりをすすめることが基本と考へられまして、町全員総力をあげてがんばりましょうと申し上げ、新年のごあいさついたします。